

題材名『よりよい人間関係を目指して～学級目標を振り返ろう～』（第1学年） 学級活動 内容（2）

本時のねらい

話し合い活動を基に学級目標の実現に向けた自己の目標を考えることを通して、思いやりをもち、協力できる人間関係を築くことができるようにする。

題材構想の意図

本題材では、よりよい人間関係を目指して学級目標の一つである「それぞれを思いやって助け合おう」の現状について話し合いを行います。事前の活動では、事前アンケートを行い、学級目標を意識できているかどうかの現状把握を行います。本時の活動では、同目標の達成度が低いことを自分自身の問題と捉え、どうすれば学級目標の実現を目指せるかについての話し合いを小グループや学級全体で行い、その上で自己の目標を決定します。事後の活動ではその個人目標の実践と振り返りを行い、継続して実践できるよう構成しました。

過程

主な学習活動

事前アンケートを行い、課題を見つけさせる

学級目標の各目標が実践できているかどうか、事前アンケートを行う。4月に立てた学級目標が意識できているかどうかを考えさせ、一人一人が現状を知ることができるようにする。

学級全体の傾向をつかませる

アンケートを集約し、学級目標の中の一つである「それぞれを思いやって助け合おう」という目標の達成度が低いという学級全体の傾向をつかませる。

計画委員と相談し、学びの見通しをもたせる

朝の時間・昼休み・給食の時間など、短時間を有効に活用して、計画委員と本時の進め方を相談する。その際、本時の進行の目安となる活動計画表を作成させる。

題材設定の理由を確認し主体的に話し合う意欲を高める

「それぞれを思いやって助け合おう」という目標の達成度が低いのは、「周囲への思いやりをもった言動ができる人が少なくなっているからである」という計画委員の推察を伝えさせる。改善に向けては、自己の目標が必要であるということを確認し、主体的な話し合いへとつなげる。

小グループや学級全体で話し合い、考えを深めさせる

各自の考えをもたせた上で、小グループによる対話で解決方法を考えさせる。小グループではホワイトボードを用いる。小グループは4人程度とし、話しやすいように配慮する。小グループでの活動を踏まえて、それを学級全体で話し合わせるなど、話し合いを充実させる。

話し合いを踏まえ自己の目標を決める深い学びへつなげる

小グループや学級全体での話し合いを踏まえて、自分に合った実践方法ができる自己の目標をワークシートに記入させる。教師の話により実現可能な目標かどうかや、実際に実践していくことが大切であることを確認させる。

自己の目標に向けて実践することができるようにする

個人で立てた目標の実現に向け、実践できるようにする。教師は、事後の活動での学級の様子を見取り、本時で話し合っただけで決定したことが実践できているかを確認し、学級全体へ声掛けをしたり、個人の様子を見守ったりしていく。

主体的な実践になっているか振り返らせる

実践を行って一定期間経過した後、ワークシートに個人で立てた目標が実現できているかどうか振り返らせ、成果は評価し課題は改善するように伝える。

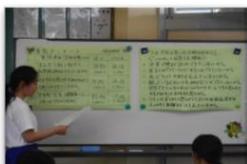
事前の活動

1. 学級の現状を把握する

- 計画委員が学級目標の達成度についての事前アンケートを行い、集約する。
- 事前アンケートから見られた、学級全体の傾向をつかむ。
- 計画委員と教師が、本時の進め方の相談を行う。その際、活動計画表を作成することで本時の見通しをもつ。

2. 学級目標の実現に向けた話し合いを行い、個人目標を決定する

- 計画委員が事前アンケートから見られた学級全体の傾向を伝える。またそれを踏まえた、題材設定の理由を学級全体で確認する。



- 題材のめあてをつかむ。

よりよい人間関係を目指すため、学級目標の実現に向けた自己の目標を考えよう。

- 解決方法の話し合いを行う。
(小グループ→学級全体)
- 多様な意見から共通性や自分できそうなことを見付ける。
- よりよい人間関係を目指すため、学級目標の実現に向けた自己の目標を決定し本時のまとめとする。



(個人目標の例)

誰とでも仲良く助け合えるように、毎日10人以上と話をしていきたいです。

3. 決めたことを実践し、振り返る

- 自己の目標の実現に向け、実践を行う。
- ワークシートを活用し、実践を振り返る。

(振り返りの例)

男女関係なく少しずつみんなと話ができるようになりました。これからも続けていきたいです。

本時の活動

事後の活動

指導例：『よりよい人間関係を目指して
～学級目標を振り返ろう～』（第1学年）

1 問題を把握し、話し合いのめあてをもつ。

つかむ

○計画委員が本時の題材・めあて・提案の理由等を伝え、学級全体で課題をつかむ。

K：題材は「よりよい人間関係を目指して～学級目標を振り返ろう～」です。めあては「よりよい人間関係を目指すため、学級目標の実現に向けた自己の目標を考えよう」です。提案理由は事前アンケートを取った結果、学級目標の一つである「それぞれを思いやって助け合おう」の達成度が一番低い値だったからです。

めあて

よりよい人間関係を目指すため、学級目標の実現に向けた自己の目標を考えよう。

主体的に話し合えるよう、話し合いのめあてをもたせる

○事前に学級目標に関するアンケートを行う。計画委員との事前活動を通して、人間関係に関する目標の達成が十分でないという問題をつかませ、それを基に話し合いのめあてを決定させる。

2 学級目標について話し合う。

さぐる

○事前アンケートの結果を掲示し、学級全体の傾向を伝え、その理由をさぐる。

K：「それぞれを思いやって助け合おう」が達成できていないのは、学級で思いやりをもてない言動が見られてきたからだと思います。



K：どうすれば学級目標に近付けるでしょうか。

○ワークシートに自分の考えを書く。

S：クラスの中で関わりの範囲を広げることが大切だと思います。

見つける

○小グループでホワイトボードを用いて話し合い、多様な考えに触れ、意見の共通性を見つける。

S：いつも一緒にいる人だけでなく他の人とも関わりを増やすことが大切だと思います。
S：苦手でも知ろうとして、男女関係なく助けたり話をしたりすることが大切だと思います。



○全体で意見交換し多くの生徒の意見に触れ、意見の共有化を図る。

S：差別をしないで相手を知ろうとすることが大切だと思います。
S：仲のよい人だけでなく、みんなで助け合うことが必要だと思います。

事前アンケートを基に、全体の傾向と理由をさぐらせる

○事前アンケートの結果に基づいて、計画委員に学級全体で見えてきた傾向とその理由を伝えさせ、学級の意見の共有化を図る。

小グループでの話し合いや、学級全体での話し合いを行わせる

○ワークシートに自分の考えを記入させる。それを基に、グループでホワイトボードを使って話し合うことで多様な意見に触れる機会にさせる。また、それを全体で発表することで、学級全体で意見の共有化を図る。

3 自己の目標を決める。

決める

○グループ・学級全体の意見をもとに、よりよい人間関係を目指していくために個人ですべきことを決定する。

K：最後に自分の考えをワークシートに書いてください。
S：決まった人だけでなく、いろいろな人と協力して関わるようにします。
S：男女関係なく、誰とでも仲良く助け合えるように、少しずつ話をしたいです。
K：先生の話。先生お願いします。

T：話し合って決めた目標を実践していくことが大切です。学級目標に近付くためにもみんなで意識して学級生活を送っていきましょう。

集団での話し合いを経て深く考えた上で、個人目標を決定する

○話し合いを経た上で、ワークシートに今後自分が取り組んでいきたい目標を書かせる。事後の活動でそれが達成できたかどうか振り返りの時間を取る。

学級活動学習指導案

平成30年6月 第1学年 指導者 細谷 昌弘

I 題材名 「よりよい人間関係を目指して～学級目標を振り返ろう～」

II 学習指導要領上の位置付け

(2) 日常の生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全
ア 自他の個性の理解と尊重、よりよい人間関係の形成
自他の個性を理解して尊重し、互いのよさや可能性を發揮しながらよりよい集団生活をつくること。

III 目標

ア (知識及び技能)

友達と協力し、学級目標の実現に向けた活動を行う上で必要なことと、その実現に向けた話し合いの進め方や意思決定の方法を理解させる。また、他者への思いやりを深めることが、集団生活では必要であることを理解させ、その実現に向けた行動ができるようにする。

イ (思考力、判断力、表現力等)

人間関係の課題を見だし、解決のために話し合い、意思決定を行うことができるようにする。また、自他のよさや可能性に気づき、それを生かして協力し合える人間関係を築くことができるようにする。

ウ (学びに向かう力、人間性等)

自己で目標を決めてよりよい人間関係づくりに取り組み、主体的に問題を解決できるようにする。また、学級生活で身に付けたことを生かして、よりよい生き方を追求していこうとする態度を養えるようにする。

IV 指導計画 ※別紙参照

V 本時の展開

1 ねらい 話し合い活動を基に学級目標の実現に向けた自己の目標を考えることを通して、思いやりをもち、協力できる人間関係を築くことができるようにする。

2 展開

学習活動（分）

○：留意点

点線囲：評価

☆：振り返りの子どもの意識

1 問題を把握し、話し合いのめあてをもつ。

つかむ（5分）

○計画委員が本時の題材・めあて・提案の理由等を伝え、学級全体で課題をつかませる。

めあて よりよい人間関係を目指すため、学級目標の実現に向けた自己の目標を考えよう

2 学級目標について話し合う。

さぐる（15分）

○事前アンケートの結果を掲示し、計画委員が学級全体の傾向を伝え、その理由をさぐらせる。

○学級目標の一つである「それぞれを思いやって、助け合おう！」について、アンケート結果などから十分に達成できていないことを捉えさせる。

○どうすれば学級目標に近付けるのか、ワークシートに自分の考えを書かせる。

見つける（20分）

○小グループでホワイトボードを用いて話し合わせ、多様な考えに触れ、意見の共通性を見付けさせる。

○全体で意見交換し多くの生徒の意見に触れさせ、意見の共有化を図らせる。

○多様な意見から自分にできそうなことを見付ける。

3 自己の目標を決める。【意思決定】

決める（10分）

○グループ・学級全体の意見を基に、よりよい人間関係を目指していくために個人ですべきことを決定させる。

学級目標の実現を目指して、よりよい人間関係のための自己の目標を決定することができる。（思考・判断・表現）【ワークシート】

☆特定の人だけでなく、いろいろな人と協力して関わるようにします。

過程	基本的な学習活動 ◇学級全体 ◆計画委員	主体的・対話的で深い学びに向けた 授業改善等のポイント	◎目指す生徒の姿(観点) 【評価方法】
事前の活動	<p>1 問題の発見・確認</p> <p>◇題材について知る。 実態から題材を設定する。</p> <p>◆問題を確認する。 事前アンケートで学級の問題を確認する。</p> <p>◆共通の課題を設定する。 学級全体で共通の課題を設定する。</p> <p>◆活動計画を作成する。 教師の指導の下、活動計画表を作成する。</p> <p>◇問題意識を高める。 学級の現状を分析し、問題意識を高める。</p>	<p>○学級の実態を踏まえ、題材としてよりよい人間関係づくりを目指すことを設定する。</p> <p>○計画委員と話し合い、学級目標の一つである「それぞれを思いやって助け合おう！」が十分に達成できていないことを確認する。</p> <p>○学級目標の実現に向けた話し合いを通して、よりよい人間関係づくりに向けた自分の目標を考えるとという共通課題を設定する。</p> <p>○活動計画表を作成し、めあて・提案理由・話し合い活動の進め方などを確認する。</p> <p>○事前アンケートの分析を行い、なぜ学級目標を十分に達成できていないのかについて、その理由を探らせて問題意識を高める。</p>	<p>◎よりよい人間関係を目指し、学級目標の実現に向けた話し合いの進め方や意思決定の方法を理解できる。(知識・技能) 【活動計画表、観察】</p>
本時の活動	<p>2 解決方法等の話し合い</p> <p>◇課題を把握する。 話し合う課題を把握する。</p> <p>◇原因を追求する。 事前アンケートを基に原因の追求を行う。</p> <p>◇解決方法を見付ける。 話し合い活動を行い、学級目標を実現していく方法を見付ける。</p> <hr/> <p>3 解決方法の決定</p> <p>◇個人目標の意思決定をする。 目標をワークシートに書く。</p>	<p>○学級全体に事前アンケートの結果を視覚的に提示し、学級全体の傾向及びその理由をさぐらせ、主体的に話し合う意欲を高める。</p> <p>○ワークシートに、自己の考えを記入させる。まずは個人で原因を追求させる。</p> <p>○ホワイトボードを用いて、小グループによる話し合い活動を行い、考えを深めさせる。</p> <p>○全体で意見を交流する場面を設定し、多様な考え方に触れさせる。</p> <hr/> <p>○よりよい人間関係を目指すため、学級目標の実現に向けた自己の目標を決定させる。</p> <p>○話し合った内容や学級目標が意識できない場面を具体的に想起させて個人目標を考えさせることで、より深い学びにつなげる。</p>	<p>◎学級目標の実現を目指して、よりよい人間関係のための自己の目標を決定することができる。(思考・判断・表現)【ワークシート】</p>
事後の活動	<p>4 決めたことの実践</p> <p>◇粘り強く実践する。 意思決定したことを継続して実践しようとする。</p> <hr/> <p>5 振り返り</p> <p>◇定期的に振り返る。 目標を実現できているかどうかワークシートに記入することで振り返る。</p>	<p>○事後の活動で学級の様子を見取り、本時で話し合った内容が実践できているかを確認し、学級全体への声掛けや個の様子を見守っていく。</p> <hr/> <p>○一定期間取り組んだら、帰りの会で本時に立てた自己の目標を目指しているか、振り返りを行う。そして、成果と課題を考えさせることで、実践の継続化や日常化を目指す。</p>	<p>◎自己で決めた目標を目指して、主体的に問題を解決しようとすることができる。(主体的に取り組む態度)【観察】</p>